

2019 年卒
Vol.06

5月1日時点の就職活動調査 <速報>

キャリアス就活 2019 学生モニター調査結果 (2018年5月発行)

企業の採用広報開始から2カ月。学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、選考解禁前にもかかわらず、内定率は4割を超えていることがわかった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 5月1日時点の内定状況

- 内定率は42.2%。4月(18.8%)より23.4ポイント上昇
- 前年同期実績(37.5%)を4.7ポイント上回る
- 就職活動を終了したのは全体の14.2%。継続者は85.8%

2. 就活継続者が活動の中心とする企業

- 活動の中心は「業界トップ企業」20.5%、「大手企業」27.1%。大手狙いの学生が計47.6%
- 内定保持者では「内定企業よりも大きい企業が中心」が過半数(51.6%)

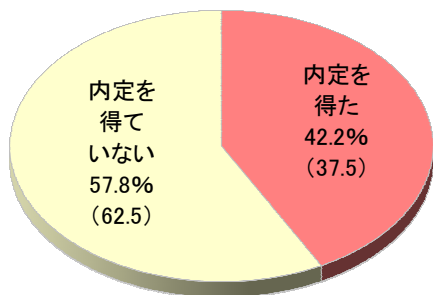
1. 5月1日時点の内定状況

就職活動スタートから2カ月が経過し、内定を得る学生は一気に増えた。5月1日現在の内定率は42.2%で、先月調査(18.8%)からの1カ月で23.4ポイント増加した。前年同期(37.5%)に比べ4.7ポイント高い水準だ。

5月の内定率が4割台をマークするのは2015年卒者以来4年ぶりだが、当時は選考解禁が今より2カ月早い4月1日だったことを考えると、今年いかに早いペースで内定が出ているかがわかる。

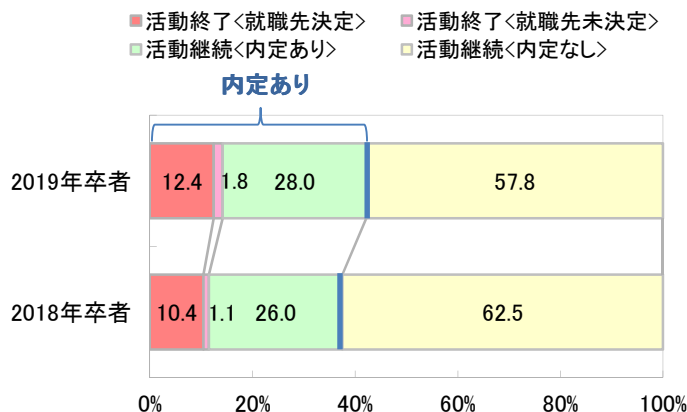
内定者は4割を超えるものの、就職活動を終了した者は全体の1割台にとどまる(計14.2%)。残りの85.8%は活動を継続しており、内定の有無によらず多くの学生にとって山場はこれからだ。

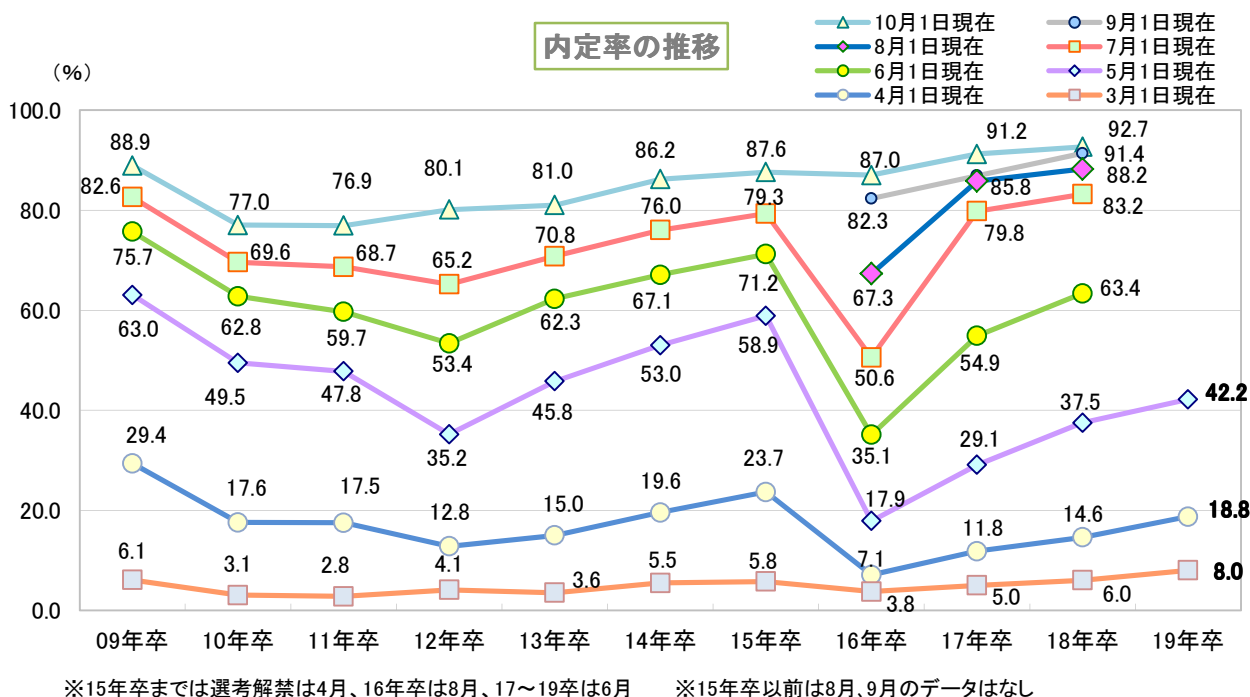
5月1日現在の内定状況



*「内定」には、内々定を含む
※()内は2017年の同調査での5月1日現在の数値

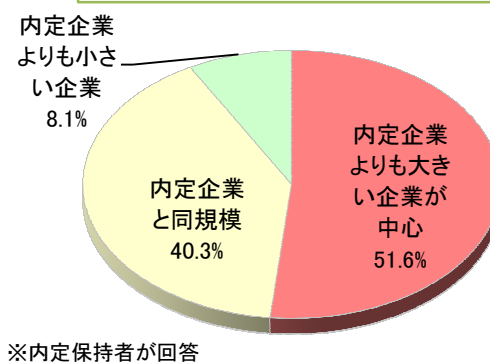
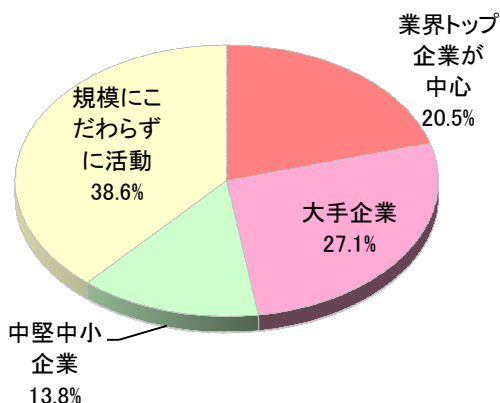
学生モニター全体の活動状況





就職活動を継続している学生（全体の85.8%）に、就職活動の中心としている企業規模を尋ねたところ、「業界トップ企業」20.5%、「大手企業」27.1%で、大手狙いの学生が計47.6%に上った。さらに、内定を持ちながら就職活動を続けている学生に、内定保持企業と比較してもらうと、「内定企業よりも大きい企業を中心」が51.6%と過半数。大手企業の選考待ちの状態である学生が多いことがうかがえる。

就職活動の中心とする企業規模



- 調査対象：2019年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,197人（文系男子363人、文系女子372人、理系男子303人、理系女子159人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2018年5月1日～7日
- サンプリング：キャリアス就活2019学生モニター（2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」）

◆本資料に関するお問い合わせ先：03-4316-5505 / 株式会社ディスコ キャリアスリサーチ